

## 令和5年度 在宅医療と介護の市民講演会を開催しました

テーマ：『在宅医療ってなあに？～あなたを支える医療と介護～』

開催日：令和6年2月10日（土） 会場：小野ふれあい会館 参加者：52名

### 【講師】

### 【講演テーマ】

諫早市地域包括ケア推進課	山下 佳苗様	「住み慣れた地域で自分らしく暮らしていくために」 ～地域包括ケアの取組みについて～
美南の丘クリニック 院長	松尾 彰 様	「在宅医療から看取りまで」～最後に穏やかな死を迎えるために～
たなか歯科医院 院長	田中 広海様	「訪問歯科について」
そうごう薬局諫早小野町店	八木ひとみ様	「薬剤師も在宅へ訪問します」



小野ふれあい会館にて、市民講演会を開催しました。

まず、地域包括ケア推進課から ACP(人生会議)や認知症に関する取組みについてご説明いただきました。

松尾先生からは「動けなくなったらどこで過ごしたいですか？」「あなたはどこで死にたいですか？」という質問から始まり、在宅医療とは何かを知ることができ、自分だったらどうするかを考えるきっかけになるお話でした。

田中先生からは実際の訪問歯科診療の様子をお写真で紹介いただきながら、どのような方が訪問対象になるのか、お金はどれくらいかかるのかなど、気になるポイントをお話いただきました。

八木先生からは、かかりつけ薬局、かかりつけ薬剤師を持って、普段から薬剤師を活用してほしいというお話がありました。

参加者からは「まだまだ自分事としては遠い話のように感じていましたが、いつ何時身近な問題として考えていかないと！と思いました」「在宅医療の必要性が身近になった年齢で、4名の先生方の講演内容を真剣に受け取ることができた。」などのご意見をいただきました。



当センターでは、今後も市民の皆様を対象に、

市内各地域で「在宅医療と介護の市民講演会」を開催していきます。

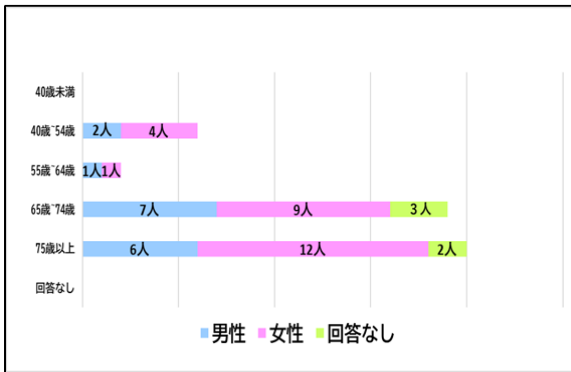


# 令和5年度「在宅医療と介護の市民講演会」アンケート集計

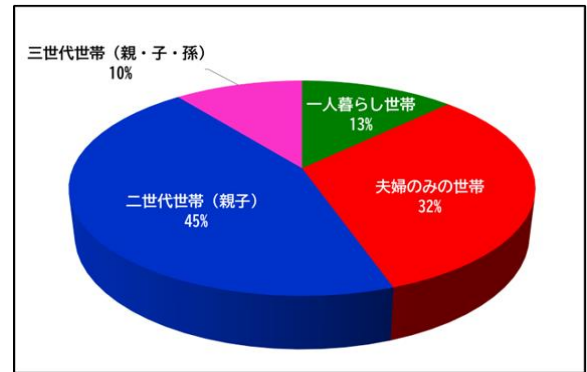
参加者数	52人
アンケート回答者数	47人
回収率	90%



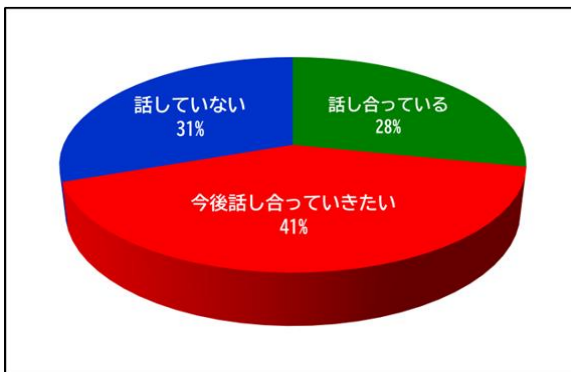
## (1)性別・年齢



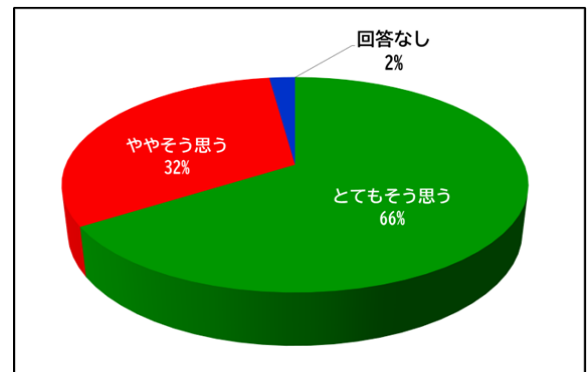
## (2)現在、誰と住んでいますか



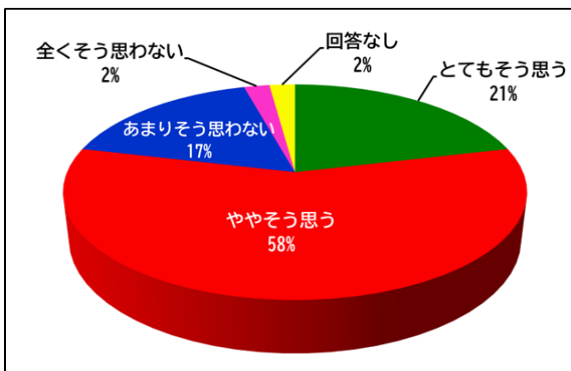
## (3)介護が必要になった場合について、 家族と話し合ったことがありますか



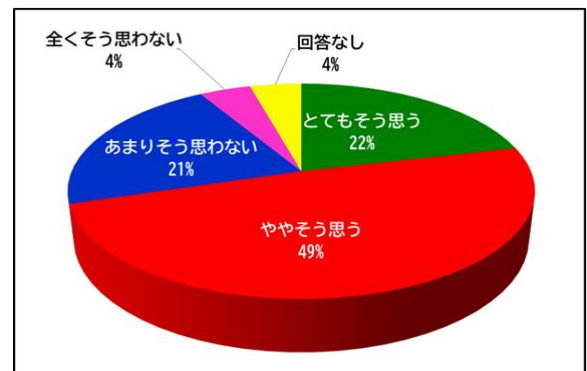
## (4)自分や家族の望む医療や介護について、 家族と話しあった方がよいと思いますか



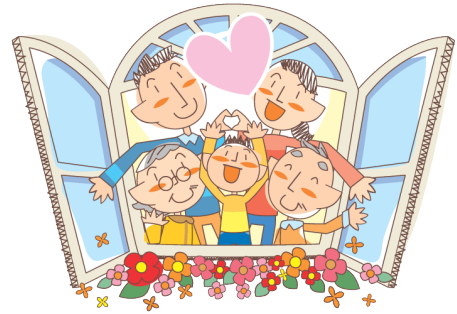
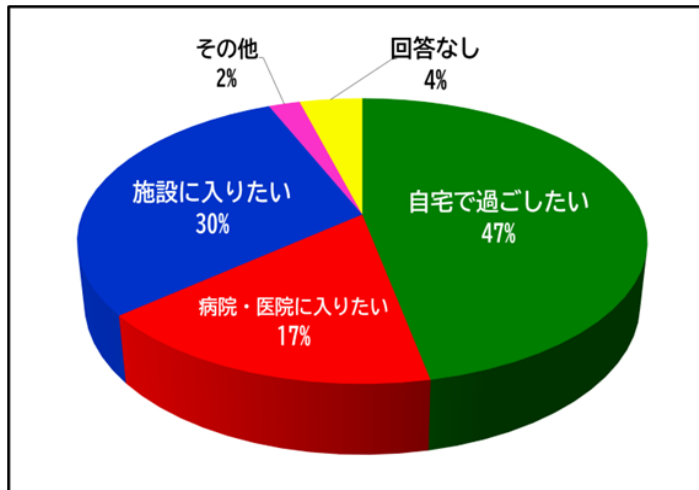
## (5)出来れば介護は家族でする方が 望ましいと思いますか



## (6)介護が必要になったとき、 家族の世話になりたくないと思いますか



## (7)介護が必要になったとき、どこで過ごしたいですか



### ■ 自宅で過ごしたい

- ・施設等には入りたくない。
- ・自宅がいい。
- ・家族と一緒に過ごしたいから。
- ・動けなくなったら…施設にと思いますが、今日の話聞かせていただいて良かったです。これからも元気に過ごせるように動き過ごしたいと思いました。
- ・介護が必要になった場合、どの程度の心身の状態かは不明だが、一般論として、住み慣れた家は他者の出入りが自由。
- ・家族の顔を見ながら、最期を迎えたい。
- ・自宅で過ごしたいと思うので、そのためには健康に気をつけてこれからは過ごしたいと思います。現在、老人会活動、サロン活動を頑張っています。地域の方と仲良く過ごしていく事を願っています。
- ・介護の度合いによって違って来る。介護経験ありです。
- ・気ままに過ごしたいと思う。
- ・まだ実感がない。
- ・生まれた家で過ごすのが望みだから。
- ・自由がなくなる。
- ・できるだけ住み慣れた自宅で最後まで暮らしたい。（願望）在宅で生活できる福祉サービスが充実していると思うので。

- ・自宅が落ち着くから。
- ・住み慣れた場所だから。
- ・入院費等が出せるか心配なので。家の方が気を遣わずにいれそうなので。

## ■ 病院・医院に入りたい

- ・老々介護でお互いを見守ることは不可能。
- ・家族に迷惑をかけたくない。
- ・家族には迷惑をかけたくないと思います。できるだけ、自分のことは自分でできるようにと思います。
- ・一人暮らしだから。
- ・子供達が遠方にいるので。
- ・自宅では無理。

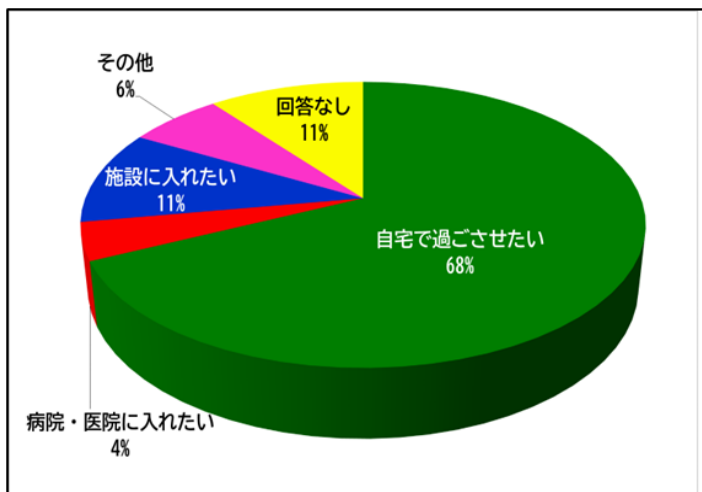
## ■ 施設に入りたい

- ・娘の負担にならないようにしたい。
- ・家は家族全員が仕事に出ていくので、ほとんど一人部屋の中で寝たきり状態。  
施設には同じような人がいるので、「こんにちは」や「いい天気」などが言える。
- ・家族に迷惑をかけたくない。
- ・家族に迷惑をかけられない。
- ・看護にかかわってもらえる家族が少ない。
- ・迷惑かけたくないから。
- ・自分でできるまでは自分で。手がかかるようなら施設に。
- ・家族に負担がかかるので、少しでも負担になりたくない。
- ・夫（高齢）、子供（仕事をしている）ため、家で過ごしたいと思います。

## ■ その他

- ・トイレと入浴が自分で出来なくなった時は、病院・施設等に入らざるを得ないと思う。

## (8) 家族が介護が必要になったとき、どのようにしたいですか



### ■ 自宅で過ごさせたい

- ・施設等には入れたくない。
- ・親を看取ってきましたが、その時は仕事をしていて思った看護ができませんでした。主人もそうしたいかな。(どっちが早くそうなるかわかりませんが…)
- ・家族も家で過ごしたいと思っていると思う。
- ・お互いがみれる状態の時は自宅で。障害が多くて一人でできない時は病院や施設に入ってもらいたい。ホームヘルパー等お願いできる範囲は自宅で過ごす。
- ・出来る限り自宅だと思います。しかし、それがいつまで出来るか？自分も家族も無理しないように家族で話し合わなければと思います。
- ・世話は十分できないが、心が通じる。住み慣れた家で終わらせたい。
- ・家族の顔を見ながら最期を迎えたい。
- ・色々な制度を利用して、できる限り家で過ごさせたいが、介護の知識がないので不安も募ります。
- ・両親の介護もしましたので、皆仲良く過ごす事を努力したいと思います。
- ・常に人とふれあってほしい。
- ・出来るだけのことをしてあげたい。
- ・自分ができる時は、してやりたいと思っていますが…
- ・安心してゆっくり過ごしてほしいから。
- ・本人のことを考えると自宅。
- ・自宅にいたいと思うので。
- ・できるだけことはしてあげたいです。

- ・世話ができる能力があるうちは、在宅サービスを利用しながら共に自宅で過ごしたい。
- ・世話ができるようであれば、自宅で見てあげたいと思います。
- ・自宅が落ち着くから。
- ・住み慣れた場所だから。
- ・入院費等が出せるか心配なので。家の方が気をつかわずにいれそうなので。

## ■ 施設に入れたい

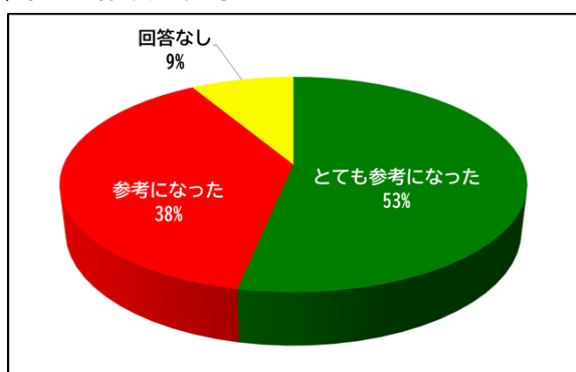
- ・本人が施設に入りたいという希望だから。

## ■ その他

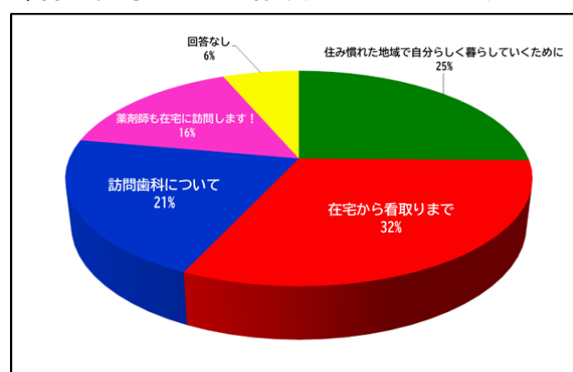
- ・症状によるでしょうけど、自分の手におえるようであれば自宅で。
- ・その時、本人と話をして、どのようにしたいかきちんと話し合いたいです。
- ・母が104歳で亡くなったが、100歳までは自宅で看ました。トイレや入浴は大変でした。



(9) 本日の講演は参考になりましたか



(10) 特に参考になった講演はどれですか (複数回答可)



## (11)本日の講演会についてご意見をお聞かせください

- ・地域の社会資源について知るよい機会となりました。ありがとうございました。
- ・耳が悪いのか、先生によっては音声が響いて聞きにくい事がありました。資料は次々と進みますが、何ページとかいってもらった方が早くわかりました。資料の字が小さいので、自宅をよく読みます。
- ・ありがとうございました。まだまだ自分事としては遠い話のように感じていましたが、いつ何時身近な問題として考えていかないと！と、思いました。
- ・とても参考になりました。ありがとうございました。
- ・在宅医療の必要性が身近になった年齢で、4名の先生方の講演内容を真剣に受け取ることができた。高齢化社会の中でこれからますます在宅医療の必要性が高まる中で、在宅医療に従事されている諸先生方に敬意を表し、感謝申し上げます。本日は誠にありがとうございました。
- ・すごく参考になりました。もう少し時間をとってじっくり聞きたいです。
- ・本日はありがとうございました。医療のプロ、福祉のプロの話が聞け、介護＝不安、孤独という印象でしたが、相談できる事や相談できる場所が多くあり、諫早市の取り組みもわかり参加して良かったです。
- ・まずは何事も知るということが大事だと思い、本日やって来ました。親の遠くない介護のために色んな知識を得ることができました。とても参考になりました。
- ・たくさん話を聞くことができ良かったです。今後のために色々と活用ができる事と思います。ありがとうございました。
- ・訪問歯科はお医者様が道具をたくさん持って行かれて、大変だと思います。在宅医のテキストもありがとうございました。たくさんあることを知りました。
- ・こんなに多岐な部門の方々が訪問医療に携わっておられると、お聞きして驚くとともに安心しました。
- ・書類が沢山あるし、講演会のメモをとりたいのに取りづらかった。机を設置してほしい。
- ・自分の終末については、真剣に考えて家族と良く話し合っておくことが大事と改めて思いました。
- ・知らない事も多くて参考になりました。ありがとうございました。
- ・今後も講演会に参加したい。
- ・まさか自分が介護の市民講演会に参加するとは…。